

2020年  
大分県鋁工業の生産動向

令和5年6月30日公表

大分県企画振興部統計調査課

## (1) 概況

2020年の大分県鉱工業生産指数（2015年＝100）は、89.5で前年比▲5.6%となり、4年連続で低下した。

全国生産指数は90.6で前年比▲10.4%、九州は95.4で前年比▲8.9%となり、それぞれ2年連続の低下となった。

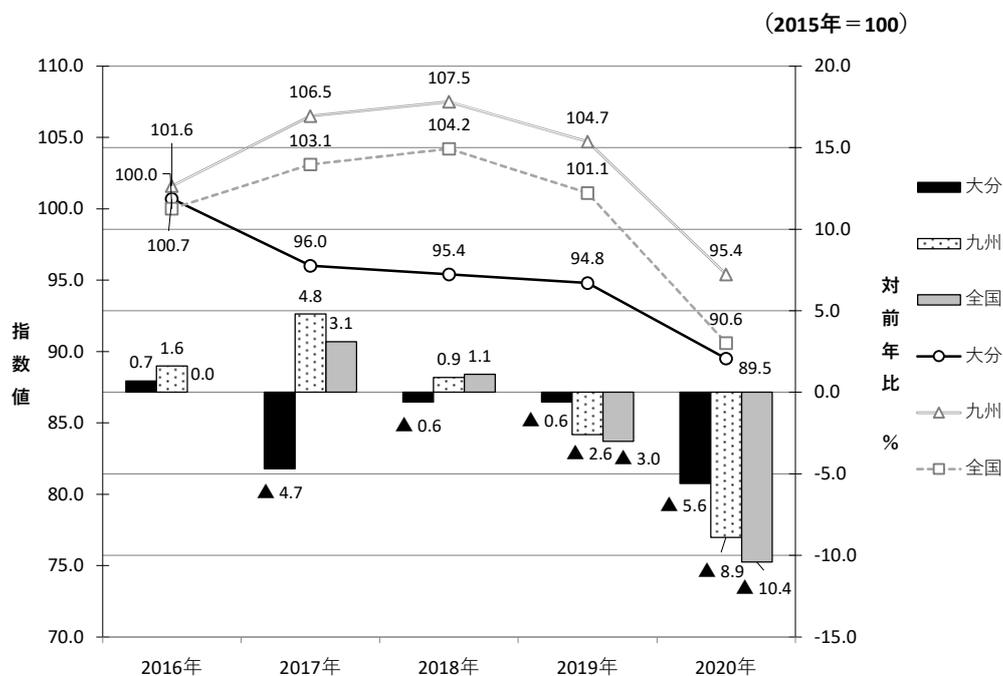
大分県生産指数を業種別にみると、前年に比べ、輸送機械工業、非鉄金属・金属製品工業の2業種が上昇し、プラスチック製品工業、電気・情報通信機械工業、その他工業などの11業種が低下した。（統計表第1表）

特殊分類別（財別）では、最終需要財は前年比＋2.2%と4年ぶりに上昇し、生産財は前年比▲10.4%と2年連続で低下した。（統計表第13表）

出荷指数は、90.4で前年比▲6.9%となり、2年ぶりに低下した。業種別にみると、前年に比べ、非鉄金属・金属製品工業、輸送機械工業の2業種が上昇し、電気・情報通信機械工業、プラスチック製品工業、その他工業などの11業種が低下した。（統計表第2表）

在庫指数は、103.3で前年比▲3.4%となり、2年ぶりに低下した。業種別にみると、前年に比べ、プラスチック製品工業、食料品工業、窯業・土石製品工業などが上昇し、化学・石油製品工業、その他工業、鉱業などが低下した。（統計表第3表）

図1 生産指数及び対前年比の推移



資料：統計表第1表

## ① 生産活動の特徴

### (ア) 生産指数は4年連続で低下

2020年の生産指数は89.5で前年比▲5.6%となり、4年連続で低下した。

### (イ) 2業種が上昇、11業種が低下

2020年の生産指数を業種別にみると、非鉄金属・金属製品工業が3年連続で上昇するなど、13業種中2業種が上昇した。一方、鉱業が2015年以来初めて低下するなど、11業種が低下した。(統計表第1表)

上昇した業種は、輸送機械工業(対前年比+7.7%)、非鉄金属・金属製品工業(同+0.4%)であり、低下した主な業種は、プラスチック製品工業(同▲27.8%)、電気・情報通信機械工業(同▲19.9%)、その他工業(同▲18.2%)などである。

## ② 四半期別の動向

表1は、2020年の四半期別生産指数の推移を示したものである。

大分県の生産指数は、Ⅲ期、Ⅳ期が前期比で上昇したが、Ⅰ期、Ⅱ期は前期比で低下した。

業種別四半期別の動向は、5ページ表2のとおりである。

表1 四半期別生産指数(季節調整済指数)の推移 (2015年=100)

区分	全国		九州		大分		
	指数	前期比(%)	指数	前期比(%)	指数	前期比(%)	前年同期比(%)
2020年Ⅰ期	98.0	0.0	100.3	▲3.1	93.6	▲0.2	0.7
Ⅱ期	81.5	▲16.8	89.0	▲11.3	84.9	▲9.3	▲14.0
Ⅲ期	88.8	9.0	92.7	4.2	88.6	4.4	▲6.7
Ⅳ期	93.9	5.7	98.5	6.3	90.3	1.9	▲2.1

(注) 前年同期比は原指数をもとに算出。

資料：統計表第10表

## 〈四半期別動向の詳細〉

### (ア) I期

生産指数は、93.6で前期比▲0.2%と低下し、この期は、全13業種中4業種が上昇、9業種が低下となった。

上昇した業種は、輸送機械工業（前期比+6.4%）、化学・石油製品工業（同+6.3%）、食料品工業（同+4.4%）、である。

一方、低下した主な業種は、電気・情報通信機械工業（前期比▲34.3%）、プラスチック製品工業（同▲17.3%）、電子部品・デバイス工業（同▲7.2%）などである。

### (イ) II期

生産指数は、84.9で前期比▲9.3%と低下し、この期は、全13業種全て低下となった。

低下した主な業種は、プラスチック製品工業（前期比▲44.0%）、輸送機械工業（同▲20.8%）、その他工業（同▲20.2%）などである。

### (ウ) III期

生産指数は、88.6で前期比+4.4%と上昇し、この期は、全13業種中8業種が上昇、5業種が低下となった。

上昇した主な業種は、電気・情報通信機械工業（前期比+46.3%）、プラスチック製品工業（同+42.9%）、輸送機械工業（同+22.3%）などである。

一方、低下した主な業種は、化学・石油製品工業（前期比▲6.1%）、電子部品・デバイス工業（同▲5.2%）、窯業・土石製品工業（同▲4.4%）、などである。

### (エ) IV期

生産指数は、90.3で前期比+1.9%と上昇し、この期は、全13業種中9業種が上昇、4業種が低下となった。

上昇した主な業種は、プラスチック製品工業（前期比+19.0%）、窯業・土石製品工業（同+15.3%）、電子部品・デバイス工業（同+12.0%）などである。

一方、低下した主な業種は、食料品工業（前期比▲4.1%）、輸送機械工業（同▲3.3%）、電気・情報通信機械工業（同▲2.9%）などである。

表2 業種別四半期別生産指数（季節調整済指数）の推移

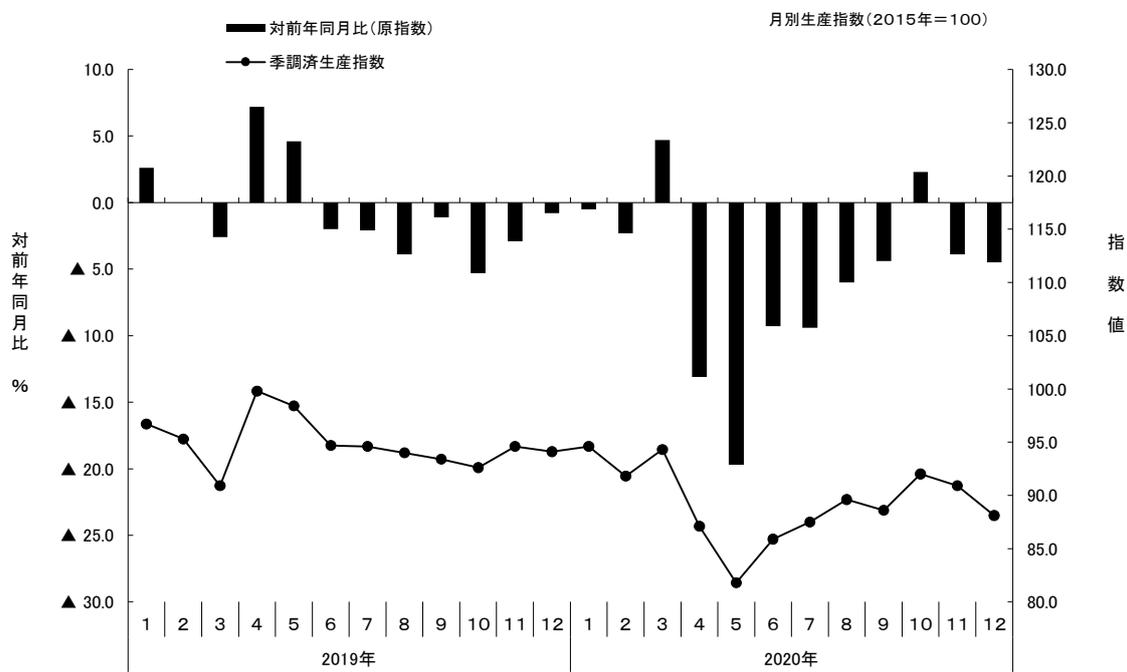
業種別	生産指数				前期比(%)			
	2020年				2020年			
	I期	II期	III期	IV期	I期	II期	III期	IV期
鉱工業	93.6	84.9	88.6	90.3	▲ 0.2	▲ 9.3	4.4	1.9
製造工業	93.5	84.7	88.4	90.1	0.0	▲ 9.4	4.4	1.9
鉄鋼業	92.3	78.4	89.0	88.0	▲ 1.4	▲ 15.1	13.5	▲ 1.1
非鉄・金属製品工業	115.8	108.1	116.4	117.1	▲ 0.5	▲ 6.6	7.7	0.6
汎用・生産用・業務用機械工業	84.6	78.5	80.3	83.2	1.0	▲ 7.2	2.3	3.6
電子部品・デバイス工業	65.7	59.1	56.0	62.7	▲ 7.2	▲ 10.0	▲ 5.2	12.0
電気・情報通信機械工業	67.6	60.3	88.2	85.6	▲ 34.3	▲ 10.8	46.3	▲ 2.9
輸送機械工業	101.4	80.3	98.2	95.0	6.4	▲ 20.8	22.3	▲ 3.3
窯業・土石製品工業	82.8	73.2	70.0	80.7	▲ 4.9	▲ 11.6	▲ 4.4	15.3
化学・石油製品工業	104.6	102.3	96.1	96.9	6.3	▲ 2.2	▲ 6.1	0.8
プラスチック製品工業	83.7	46.9	67.0	79.7	▲ 17.3	▲ 44.0	42.9	19.0
パルプ・紙・紙加工品工業	105.9	103.5	99.6	103.6	▲ 3.2	▲ 2.3	▲ 3.8	4.0
食料品工業	89.9	86.1	88.8	85.2	4.4	▲ 4.2	3.1	▲ 4.1
その他工業	75.3	60.1	66.5	69.6	▲ 6.2	▲ 20.2	10.6	4.7
繊維工業	70.6	76.9	100.0	56.3	9.0	8.9	30.0	▲ 43.7
家具・木材・木製品工業	75.7	65.8	66.1	70.5	▲ 1.0	▲ 13.1	0.5	6.7
印刷業	74.9	58.2	63.4	65.8	▲ 7.8	▲ 22.3	8.9	3.8
その他製品工業	75.2	44.6	56.8	73.6	▲ 16.3	▲ 40.7	27.4	29.6
鉱業	101.9	100.6	99.3	102.8	▲ 6.1	▲ 1.3	▲ 1.3	3.5

(2015年=100)

資料：統計表第10表

参考

図2 月別生産指数（季節調整済指数）の推移



資料：統計表第7表

### ③ 業種別寄与度

総合の増減分に対して、その内訳である業種の増減分がどの程度影響を与えたかを示したものが寄与度である。

2020年の生産指数は、前年比▲5.6%と低下した。この増減に対して上昇に寄与したものが2業種、低下に寄与したものが11業種となっている。

上昇に寄与した業種は、輸送機械工業（同+1.0%）、非鉄金属・金属製品工業（同+0.1%）である。

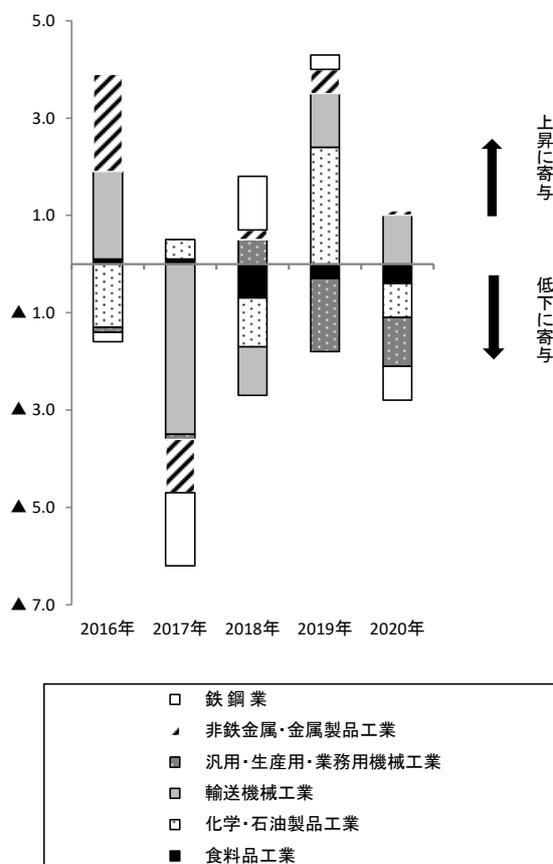
一方、低下した主な業種は、プラスチック製品工業（寄与度+1.1%）、はん用・生産用・業務用機械工業（同+1.0%）、窯業・土石製品工業（同+0.8%）などである。

また、図3はその年の生産指数の増減分に対する業種別の寄与度について、2016年以降の推移を示したものである。

表3 業種別寄与度（2020年）

業 種 別	寄与度(%)
鉱工業	▲5.6
製造工業	▲5.5
鉄鋼業	▲0.7
非鉄金属・金属製品工業	0.1
はん用・生産用・業務用機械工業	▲1.0
電子部品・デバイス工業	▲0.6
電気・情報通信機械工業	▲0.6
輸送機械工業	1.0
窯業・土石製品工業	▲0.8
化学・石油製品工業	▲0.7
プラスチック製品工業	▲1.1
パルプ・紙・紙加工品工業	▲0.1
食料品工業	▲0.4
その他工業	▲0.6
繊維工業	0.0
家具・木材・木製品工業	▲0.2
印刷業	▲0.2
その他製品工業	▲0.3
鉱業	▲0.1

図3 総合の増減分に対する業種別寄与度の推移（主要業種）



## (2) 業種別の生産動向

[年指数及び前年(同期)比は原指数、四半期別指数及び前期比は季節調整済指数 2015年=100]

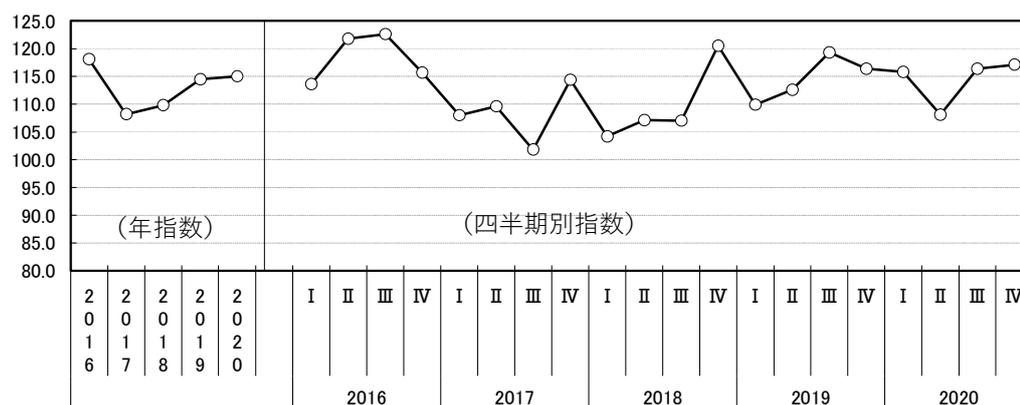
### ① 鉄鋼業



2020年の鉄鋼業の生産指数は86.9で、前年比▲8.5%と3年ぶりに低下した。

[鉄鋼業]	生産指数	前期比(%)	前年(同期)比(%)
2020年	86.9	-	▲8.5
I期	92.3	▲1.4	▲1.9
II期	78.4	▲15.1	▲21.8
III期	89.0	13.5	▲4.8
IV期	88.0	▲1.1	▲4.9

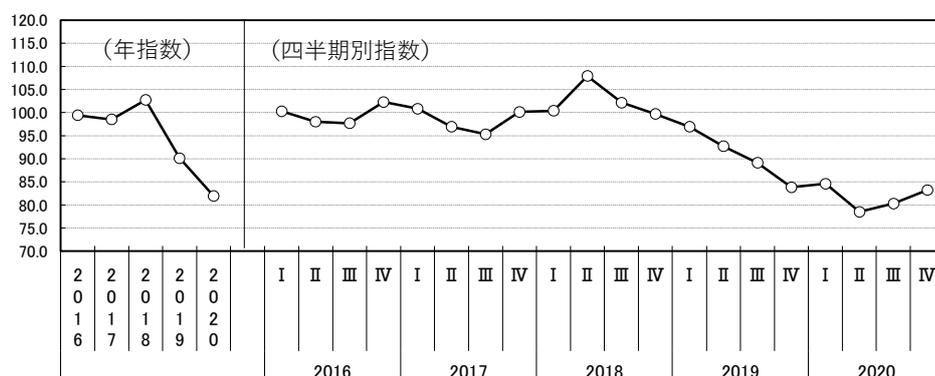
### ② 非鉄金属・金属製品工業



2020年の非鉄金属・金属製品工業の生産指数は115.0で、前年比+0.4%と3年連続で上昇した。

[非鉄・金属製品工業]	生産指数	前期比(%)	前年(同期)比(%)
2020年	115.0	-	0.4
I期	115.8	▲0.5	8.5
II期	108.1	▲6.6	▲6.2
III期	116.4	7.7	▲2.5
IV期	117.1	0.6	2.1

③ 汎用・生産用・業務用機械工業



2020年の汎用・生産用・業務用機械工業の生産指数は81.9で、前年比▲9.1%と2年連続で低下した。

[汎用・生産用・業務用機械工業]	生産指数	前期比(%)	前年(同期)比(%)
2020年	81.9	-	▲9.1
I期	84.6	1.0	▲9.6
II期	78.5	▲7.2	▲14.0
III期	80.3	2.3	▲13.3
IV期	83.2	3.6	1.3

④ 電子部品・デバイス工業



2020年の電子部品・デバイス工業の生産指数は60.6で、前年比▲13.7%と2015年以降5年連続で低下した。

[電子部品・デバイス工業]	生産指数	前期比(%)	前年(同期)比(%)
2020年	60.6	-	▲13.7
I期	65.7	▲7.2	▲10.7
II期	59.1	▲10.0	▲15.2
III期	56.0	▲5.2	▲21.3
IV期	62.7	12.0	▲7.4

⑤ 電気・情報通信機械工業



2020年の電気・情報通信機械工業の生産指数は78.0で、前年比▲19.9%と2年連続で低下した。

[電気・情報通信機械工業]	生産指数	前期比(%)	前年(同期)比(%)
2020年	78.0	-	▲19.9
I期	67.6	▲34.3	▲27.0
II期	60.3	▲10.8	▲38.5
III期	88.2	46.3	▲10.7
IV期	85.6	▲2.9	▲6.9

⑥ 輸送機械工業



2020年の輸送機械工業の生産指数は94.2で、前年比+7.7%と2年連続で上昇した。

[輸送機械工業]	生産指数	前期比(%)	前年(同期)比(%)
2020年	94.2	-	7.7
I期	101.4	6.4	25.3
II期	80.3	▲20.8	▲7.3
III期	98.2	22.3	10.6
IV期	95.0	▲3.3	2.5

⑦ 窯業・土石製品工業



2020年の窯業・土石製品工業の生産指数は77.0で、前年比▲13.2%と2年連続で低下した。

[窯業・土石製品工業]	生産指数	前期比(%)	前年(同期)比(%)
2020年	77.0	-	▲13.2
I期	82.8	▲4.9	▲5.8
II期	73.2	▲11.6	▲24.5
III期	70.0	▲4.4	▲16.2
IV期	80.7	▲15.3	▲6.4

⑧ 化学・石油製品工業



2020年の化学・石油製品工業の生産指数は99.4で、前年比▲3.1%と2年ぶりに低下した。

[化学・石油製品工業]	生産指数	前期比(%)	前年(同期)比(%)
2020年	99.4	-	▲3.1
I期	104.6	6.3	2.3
II期	102.3	▲2.2	▲7.0
III期	96.1	▲6.1	▲5.8
IV期	96.9	0.8	▲1.7

⑨ プラスチック製品工業



2020年のプラスチック製品工業の生産指数は70.4で、前年比▲27.8%と3年連続で低下した。

[プラスチック製品工業]	生産指数	前期比(%)	前年(同期)比(%)
2020年	70.4	-	▲27.8
I期	83.7	▲17.3	▲14.1
II期	46.9	▲44.0	▲54.4
III期	67.0	42.9	▲33.0
IV期	79.7	19.0	▲13.1

⑩ パルプ・紙・紙加工品工業



2020年のパルプ・紙・紙加工品工業の生産指数は103.2で、前年比▲5.0%と2年ぶりに低下した。

[パルプ・紙・紙加工品工業]	生産指数	前期比(%)	前年(同期)比(%)
2020年	103.2	-	▲5.0
I期	105.9	▲3.2	▲0.8
II期	103.5	▲2.3	▲4.8
III期	99.6	▲3.8	▲10.3
IV期	103.6	4.0	▲4.0

⑪ 食料品工業



2020年の食料品工業の生産指数は87.7で、前年比▲4.0%と3年連続で低下した。

[食料品工業]	生産指数	前期比(%)	前年(同期)比(%)
2020年	87.7	-	▲4.0
I期	89.9	4.4	▲2.5
II期	86.1	▲4.2	▲9.2
III期	88.8	3.1	▲2.5
IV期	85.2	▲4.1	▲2.0

⑫ その他工業



2020年のその他工業の生産指数は68.0で、前年比▲18.2%と2015年以降5年連続で低下した。

[その他工業]	生産指数	前期比(%)	前年(同期)比(%)
2020年	68.0	-	▲18.2
I期	75.3	▲6.2	▲10.1
II期	60.1	▲20.2	▲30.5
III期	66.5	10.6	▲21.9
IV期	69.6	4.7	▲10.2

⑬ 鉱業



2020年の鉱業の生産指数は101.7で、前年比▲5.5%と2015年以降5年ぶりに低下した。

[鉱業]	生産指数	前期比(%)	前年(同期)比(%)
2020年	101.7	-	▲5.5
I期	101.9	▲6.1	▲2.2
II期	100.6	▲1.3	▲9.5
III期	99.3	▲1.3	▲7.1
IV期	102.8	3.5	▲3.2

### (3) 特殊分類別（財別）の生産動向

#### ① 最終需要財

2020年の最終需要財の生産指数は、92.9で前年比+2.2%と4年ぶりに上昇した。

注) 最終需要財：鉱工業または他の産業に原材料などとして投入されない最終製品。ただし、建設財を含み、企業消費財を除く。

#### (ア) 投資財

2020年の投資財の生産指数は、88.1で前年比+1.5%と4年ぶりの上昇となった。内訳をみると資本財の生産指数は、83.8で前年比+10.3%と4年ぶりの上昇となり、建設財の生産指数は、96.0で前年比▲9.5%と2015年以降初めての低下となった。

注) 投資財：資本財と建設財の合計。資本財とは、主として家計以外で購入される財で耐用年数1年以上の財である。建設財とは、建築用と土木用の合計である。

#### (イ) 消費財

2020年の消費財の生産指数は、98.5で前年比+2.7%となり、2年連続の上昇となった。内訳をみると、耐久消費財の生産指数は、84.4で前年比96.0%と2年連続の低下となり、非耐久消費財の生産指数は102.9で前年比+6.2%と2年連続の上昇となった。

注) 消費財：主として家計で購入される財。耐久消費財とは、耐用年数が1年以上で比較的購入単価が高い財である。非耐久消費財とは、耐用年数が1年未満、または比較的購入単価が安い財である。

#### ② 生産財

2020年の生産財の生産指数は、87.2で前年比▲10.4%と2年連続で低下した。

注) 生産財：鉱工業及び他の産業に原材料などとして投入される製品。ただし、輸出用の中間生産物、企業消費財を含み、建設財を除く。

(統計表13表)

表4 特殊分類別（財別）生産指数

(2015年=100)

指数品目	2020年指数	前年比(%)
鉱工業	89.5	▲ 5.6
最終需要財	92.9	2.2
投資財	88.1	1.5
資本財	83.8	10.3
建設財	96.0	▲ 9.5
消費財	98.5	2.7
耐久消費財	84.4	▲ 9.0
非耐久消費財	102.9	6.2
生産財	87.2	▲ 10.4

資料：統計表13表

図4は、2015年以降の特殊分類別（財別）生産指数の推移を表したものである。2020年における最終需要財の生産指数は4年ぶりの上昇、生産財については2年連続の低下となった。

図4 特殊分類別（財別）生産指数の推移

(2015年=100)

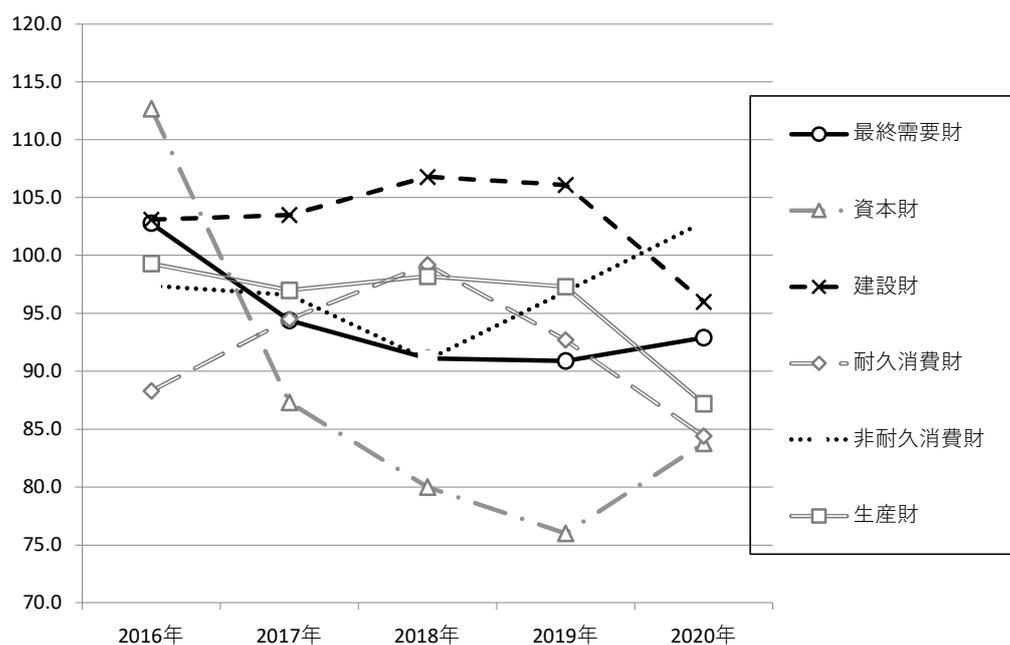


図5は、鉱工業生産指数の増減分に対する財別の寄与度について、2016年以降の推移をまとめたものである。

図5 鉱工業生産指数の増減分に対する財別寄与度の推移

